



【ADM+CDDP(30歳以上)療法について】

(ドキソルビシン+シスプラチン)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、治療のお薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前		作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目		
アロカリス注 パロノセトロン注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																									
デキサート注																											
硫酸マグネシウム注	副作用予防	30分										この週は お休みです。								この週は お休みです。							
ドキソルビシン注	抗がん剤	24時間			尿の色が赤くなることがあります。																						
シスプラチン注	抗がん剤	24時間		腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。 無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。																							



治療による副作用

↑ ジーラスタ:白血球を上げる注射を打ちます。

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚 症状	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	口内炎																						
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																					
	下痢																						
	手足のしびれ																						
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																						
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
検 査 値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい等を心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少																						
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	肝機能低下																						
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																					
	腎機能低下																						
		顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																					

心機能低下 (治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。